

# 生涯 楽習

## たより

### 第78号

2022年1月1日 発行

- P1. 年初に立てよう  
一年の計！これからの学び
- P2. 自主グループ紹介「基礎」  
Café ミネルヴァの案内
- P3. 「学びを楽しむ・学びを支える」  
かぶらぎみなこ さん
- P4. 「ふちゅう東西南北」  
府中の森公園を探索



《今日の作品》  
『大國魂神社』  
絵画サークル「基礎」  
の提供作品から

## 年初に立てよう 一年の計！～これから学び～

2020年・2021年はコロナ禍で生活スタイルが激変し、人ととの接触や集まりを控えるようになりました。今年も状況が良くなるとは言いきれませんが、学びのすすめ方を本格的に考える時にしましょう。

### 新たな年を迎えるにあたって 文化生涯学習課

新年あけましておめでとうございます。令和4年の新春をお健やかにお迎えのこととお喜び申しあげます。

昨年は、コロナ禍ではありましたが、東京2020オリンピック・パラリンピック大会が、選手や大会関係者をはじめ、多くの方々の努力により、開催されました。本市では、ホストタウンとして卓球オーストリア代表を迎え、また、自転車競技ロードレースの会場となるなど、市政運営方針のテーマのひとつである「世界とつながる 平和と人権」を実践する良い機会となりました。

また、11月11日には、第52回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会が、府中の森芸術劇場で開催されました。大会テーマは、「明日に向け 学びの輪を広げよう！～地域の魅力 グローバル社会で再発見～」で、東京大学の牧野篤教授による基調講演が行われたほか、トークセッションでは、多方面で活躍されている社会教育委員による幅広い議論が行われ、生涯学習について理解を深める1日となりました。（右の記事参照）

大会の様子はオンラインにて1月31日（月）まで配信しておりますので、よろしければ、ご覧ください。

新しい年も、誰もが参加しやすい学びの機会を充実させ、「学び返し」のまち府中の実現に向け、生涯学習を推進してまいります。

年頭にあたり、皆様にとって幸多く、人生がより豊かになる一年となりますようお祈り申しあげます。

### 社会教育研究大会に参加して 府中市生涯学習ボランティア「懇学の会」田頭隆徳

基調講演は、東京大学大学院教育学研究科教授の牧野篤氏。演題は「みんながつくる＜社会＞へ～人生100年、AI、そしてポストコロナ時代の社会教育～」で、60分の予定でしたが熱が入り70分ほどとなりました。

「最近赤ちゃんが笑わなくなっている」というショッキングな話から始まり、親ガチャ、毒親、褒められるのがデフォルト、コミュニティと学び、

「学び」が社会の基盤、新しい生活スタイル、「ことば」がものをいう、「学び」は「楽しさ」「愉しさ」に駆動される、など興味深いことが話され、＜社会教育＞・＜学び＞を考えるきっかけを与えてくれた講演でした。

全体的には、「これからは『社会教育の時代』であり、暮らしのすべての基盤に『学び』がある。学びというのは、学び合う、教え合うということ。学びというのは、楽しみでもある。そうしたところから新しい関係作りが始まって、関係が豊かになっていく、豊かな地域になっていく。そして子供達を含めた新しい世代に引き継がっていく」というようなことがお話をされました。



大会の様子(WEBより)



# 生涯学習センターを中心に活動する 自主グループの紹介

今回は、新年号から表紙の挿画を担当していただく絵画グループを紹介します。掲載は2022年の4回を予定しています。

## 絵画サークル 基礎

絵画サークル「基礎」は、平成7年に自主グループとして発足し、府中市生涯学習センターを拠点に活動しています。

主に油彩、水彩、鉛筆、パステルなどの素材を、会員個々のレベルや好みに合わせて使い分けながら、講師の指導の下に和気あいあい楽しんで制作しています。

会の年間スケジュールとして、4単位(4作品)の制作・完成を目標としており、その他個人的な自主製作も行っています。

サークル活動において画題選びには悩むところですが、当会では会員の皆さんが持ち寄った様々な物を使って静物モチーフを3~4卓セットし、それを各自選択して制作するというスタイルをメインにしています。また、時折野外スケッチやモデルを使った人物画制作も取り入れ、制作内容に幅を持たせています。

完成した作品は、生涯学習センターの壁面を利用した会独自の作品展、または市民美術展や生涯学習フェスティバルなどの市民参加型のイベントやグループ展等に出品するなどして、発表の機会も積極的に設けています。



活動場所：生涯学習センター

活動日：月3回（水曜日）

指導者：清野浩二先生（現代美術家）

【連絡先】横澤 042-369-3692



## ・マナビーの教えてください！ “B.C.S.カフェ”って何ですか？

生涯学習センターの1階にあるレストラン「B.C.S.カフェ ミネルヴァ」。新メニューでリニューアルオープンしたのですね。マネージャーの澤田 薫さん、詳しく教えてください。

### B.C.S.カフェとは

ミネルヴァでは、オープン当初から「B…バランス（バランスの良い食事）」「C…コンディショニング（体調管理）」「S…シーズン（季節の食材）」をコンセプトに、お料理をご提供してきました。

ようやく緊急事態宣言があけ営業再開しましたので、コロナに負けない未病対策のため【弁証施膳】を考えた

レシピをつくり、みなさまに自然治癒力を高めていただけるようなお料理をご提供したいと思っています。

### 新メニューのおすすめ

新メニューでは、食材の四季「寒」「涼」「温」「熱」という性質を活かした料理を提供します。寒い季節には、体を温める生姜や16種類のスパイス、鶏肉を使ったスペイシートマトジンジャーカレー、スペシャルメニューの黒毛和牛ハンバーグがおすすめです。店内は、ゆったりくつろげますので、ご家族、お友達とお越しくださいませ。

### 様々な要望にお応えします

また、ご予約で、数種類のおはぎのセット販売、ブレックファーストやパーティー、ディナー、食事会、ランチボックス、いろいろなシチュエーションの出張パーティー(7~500名まで)を承ります。



ご連絡は— 042-361-5269

## 学びを楽しむ 学びを支える その(8)

### 府中の街を歩き、人々の暮らしを描きつづける

イラストレーター かぶらぎみなこさん（府中市在住）

最近、府中の街の魅力を丹念なイラスト画で紹介した単行本『府中まちあるきイラストガイド』が出版されました。その著者・かぶらぎさんに、イラストレーターになったきっかけや、取材・作品づくりのご苦労・楽しみ、これからの抱負などをお聞きしました。



#### ◇イラストレーターになったきっかけは？

子どものころから絵を描くのが好きで、いつか絵を描く仕事がしたいと思っていました。中学3年の時、米国のイラストレーター ノーマン・ロックウェルの絵を見て、一枚の絵の中で物語が完結していることに感銘を受け、その頃からイラストレーターを目指していました。

#### ◇府中の街並みを描き始めたきっかけは？

大学を卒業し青山や原宿で仕事をしていましたが、11年前父が病気で倒れ、府中の家でできる仕事に切り替えました。その後、父が調布市との市境の病院に入院し、連日通いましたが、何か楽しみを見つけて病院にいけたらいいなと思い、旧甲州街道をスケッチしながら歩きました。入院が長引いたので、どんどん歩く範囲が広がっていって、気づいたら府中全体の絵地図を描いていました。

街歩きでは一つの道を行ったり来たりし、3回は歩いて確認しますが、1日に2万歩が限度でした。それで、府中全体を描いたラフスケッチが400枚、3年かかりました。43枚に清書し、市販の地図を参考にしてつなぎ府中全図にしたのですが、大変でした。

#### ◇府中の皆さんの中に止まったのは？

せっかくなので、この絵地図をみなさんにも見てもらいたいと思っていた時、フォーリスの光と風の広場で3日間展示の機会をいただきました。そこに、たまたま美好町商店会の方が来られ、商店会の絵地図作りをお願いされたのが、府中市での初めてのお仕事でした。以来、依頼されたお仕事はキッチンと丁寧に仕上げることを心がけています。美好町商店会の絵地図も、街並みの変化を入れて、5年間、毎年更新しています。

#### ◇イベント関係のお仕事も多いようですが？

最近では、「歩いて知ろう わがまち府中」というイベントの楽しい絵地図を描きました。（右下）

私は生まれも育ちも府中ですので、みなさんが下のイラストのように、絵地図を開きながら街をウォーキングされるのを見るのはとてもうれしいです。府中の方は、一つの作品をものすごく大事にして、長く見ていただけるのでありがとうございます。



#### ◇イラストにしたいと魅かれる題材は？

もともと、市民の生活を描いたイラストレーター ロックウェルにあこがれていますので、街の人々の営みに興味がわきます。また、史学科出身なので、歴史があるところが面白いです。

お仕事では、人々や歴史などいろいろ描かせてもらっていますので、その中で、自分自身興味をもったところ、わくわく感や不思議感があるところを見つけ、みなさんにお伝えできたらいいなと考えています。『くらやみ祭ってなんだ？』もそんな思いで作りました。街にはそれぞれの個性、それぞれの良さがあるのでそんなことも紹介していきたいです。



#### ◇「コロナの世界の明るい人々」というSNSも発信されていますが

コロナ禍で緊急事態宣言が出され、イベント関係のお仕事が減ってしまったので、腕がなまらないように、そして不安な時期だからできるだけ明るい話題がいいかなと思って始めました。宣言が出されている期間毎日1枚描くことを自分に課し、211枚になりました。長かったなと思います。

#### ◇作品をつくるよろこび、これからの抱負は？

お店でも、お祭りでもいろんな人に出会い知り合いになれてとても楽しいです。知らないことがいっぱいあるので、いつもわくわくしています。

イラストレーターになって今年で26年目です。いろいろな表現に挑戦してみたいですね。私が絵本を描くとどんな風になるのかなといったチャレンジもしてみたいです。

これからもイラスト画で、府中の街の活性化のお手伝いをさせていただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

（記：奥野英城）



樂習だよりの編集メンバーで府中の森公園へ行ってきた。ここはファミリー公園ともされており、3~5歳ぐらいの子供連れの家族が大ぜい、楽しそうに広場や芝生の上を走りまわっていた。私たちもついられて、思わず子供たちへ手を振ってしまった。米軍基地の跡地だが平和がいっぱいの場所となっている。



### 《日本庭園》①

都内の日本庭園は数多くありますがこの庭園は小じんまりとしていても趣きはあります。滝もあるし秋はもみじが池に映る。冬は雪吊りも見られます。散歩の途中の小休憩にはもってこいの場所です。



### 《石垣壁泉》②

公園のサービスセンター前に石垣壁泉があります。その池にはカルガモがいて、心を和ませてくれます。カルガモは、カモの中で唯一の渡りをしない鳥です。広げた翼の下に見える鮮やかな緑または青色は、風切羽です。



### 《ヒマラヤスギ》③

芸術劇場側の入口近くに広がる「武藏野の森」に、ヒマラヤスギの大木がそびえている。米軍からこの地が返還された時にも伐採されず、1991年開園後も雄大な姿で人びとを癒している。府中に何故ヒマラヤスギが? この疑問から色々調べてみると、意外にもこんな歴史があったのです。

府中に根をおろし100年以上、堂々としていてすっかり馴染んでいる。何やら人の世と似ていますね。



ヒマラヤスギは堅牢な建材としてや精油としても有効活用されていて、捨てるところが少ないSDGsのお手本みたいな木です。樹の香りには癒し効果があるといいます。ちょっと足を延ばして森の中を散策してみてはいかがでしょう。

### 《モニュメント噴水》⑤

この公園を代表するもののひとつに噴水があります。噴水は、7つある公園入り口の中央に位置し見ることができます。武藏野の緑に囲まれたこの平和を象徴する噴水は、太陽の光を浴びると更に美しく力強いものを感じさせてくれます。夜にはときおりライトアップもされ、多くの人々から親しまれています。



### 編集後記

いつものように日が暮れ、いつものように朝が来るだけのことなのですが、元旦だけはいつも一日の始まりとは異なり身も心も一新したような清々しい気分になります。正月は心機一転、新たな出発の好機です。編集員一同も心を新たにして「学びを楽しむ、学びを支える」ための情報発信に努めて参ります。本年もよろしくお願いします。(小林清次郎)

企画・編集：府中市生涯学習ボランティア「悠学の会」

共同発行：府中市文化スポーツ部文化生涯学習課

ふちゅう生涯学習センター共同事業体

府中市生涯学習センター

〒183-0001 府中市浅間町1-7 Tel 042-336-5700

WEBサイト: <http://fuchu.shogaigakushu.jp/>